



2014年3月期 決算補足資料

トピー工業株式会社

© 2014 Topy Industries, Limited All Rights Reserved.



2013年度(2014年3月期) 決算について

決算概要



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

売上高は前期比3.4%の増収。

営業利益は前期比24.1%の減益、営業利益率は0.8ポイント減の2.3%。

(単位:億円)

	2012年度 (A)	2013年度 予想 (B) 2013年11月6日公表値	2013年度 (C)	前期比 (C-A)	予想対比 (C-B)
売上高	2,269	2,320	2,347	+ 78	+ 27
営業利益	69.9	45.0	53.1	△ 16.8	+ 8.1
営業利益率	3.1%	1.9%	2.3%	△ 0.8P	+ 0.3P
経常利益	62.3	37.0	44.9	△ 17.5	+ 7.9
当期純利益	34.1	15.0	19.1	△ 15.0	+ 4.1
配当 (円)	4.0	2.0	2.0	△ 2.0	± 0.0

2013年度の経営環境



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

2012年度との比較

◆外部の環境

○ー×:環境・影響の評価

海 外 経 済	ー	米国:緩やかな回復
	ー	新興国:成長鈍化
日 本 経 済	○	政府の経済対策による円高修正、株価上昇
	×	建設現場での人手不足の深刻化、船舶車両不足の顕在化により復興需要が限定的

◆当社グループに関する環境

鉄 鋼 事 業	×	電力:燃料調整費等の増加による単価上昇
	×	メタルスプレッド:エネルギーコスト上昇分を含めた確保が困難
自 動 車・産 業 機 械 部 品 事 業	ー	ホイール:トラック用及び乗用車用ホイールの販売が堅調
	×	SGOR:鉱山向け需要減少による販売数量の激減
	○	国内建機:復興需要及び駆け込み需要により増加
	×	東南アジア建機:需要低迷

外部環境が厳しい中、収益改善諸施策とコスト削減を徹底して推進し、年度計画通りに達成することができた。
一方、事業の点検・見直しについても実施し、完了したものから実行に移した。

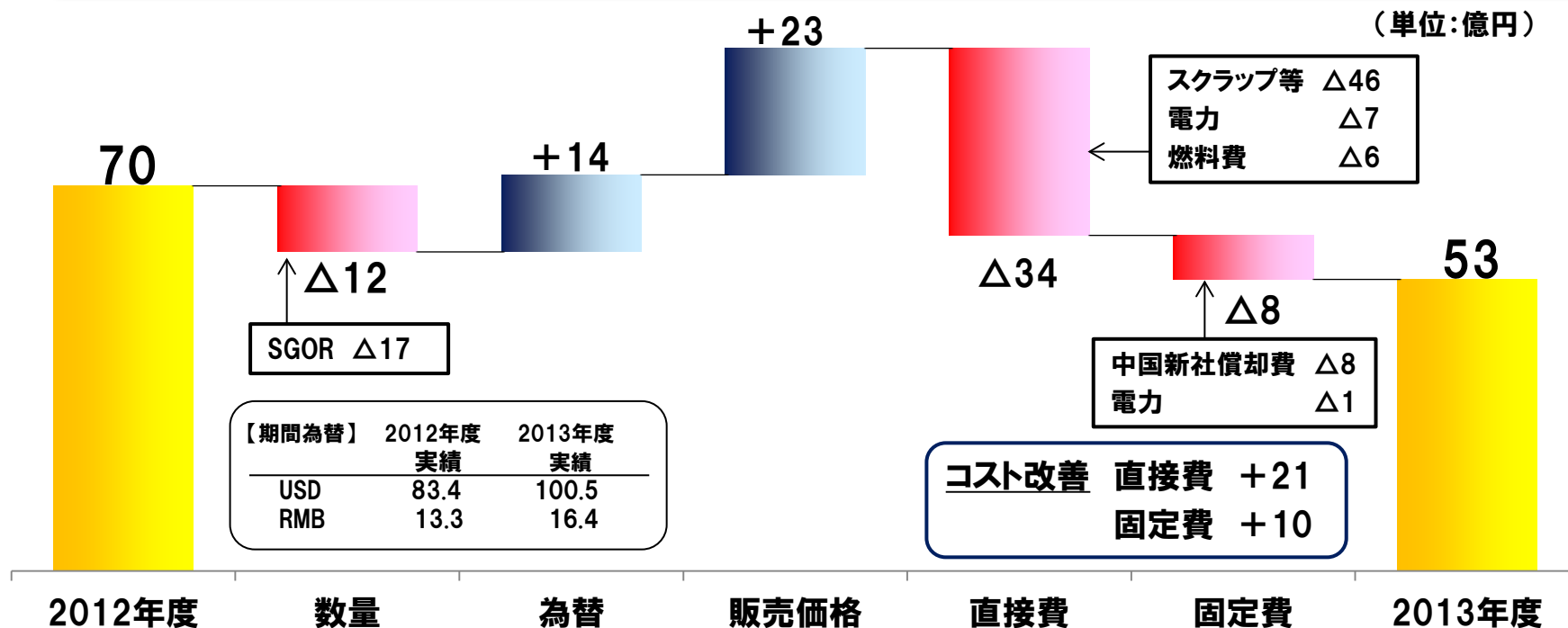
- ・グループ全体で省エネキャンペーン「エネ活2020」の展開による電力費用等の削減
- ・スチール収益改善委員会でグループを挙げて収益力の改善を検討、推進
- ・SGOR減産下での最適生産体制による収益確保と市販の強化
- ・中国履帯2社の一体運営により業務の効率化と組織のスリム化
- ・棚倉田舎倶楽部運営会社の全株式譲渡

連結 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

SGORの販売数量の激減と建設機械用足回り部品の競争激化の影響が大きく、17億円の減益。



セグメント別業績



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

鉄鋼事業は大幅に増収増益となるものの、自動車・産業機械部品事業が増収減益。

(単位:億円)

	2012年度 (A)		2013年度 (B)		前 期 比 (B) - (A)	
	売 上 高	営 業 利 益	売 上 高	営 業 利 益	売 上 高	営 業 利 益
鉄 鋼 事 業	676	7.2	730	16.3	+ 53	+ 9.1
自 動 車・産 業 機 械 部 品 事 業	1,454	99.7	1,474	73.6	+ 20	△ 26.1
そ の 他	139	5.4	143	6.3	+ 4	+ 0.9
消 去	—	△ 42.4	—	△ 43.2	—	△ 0.8
連 結 計	2,269	69.9	2,347	53.1	+ 78	△ 16.8

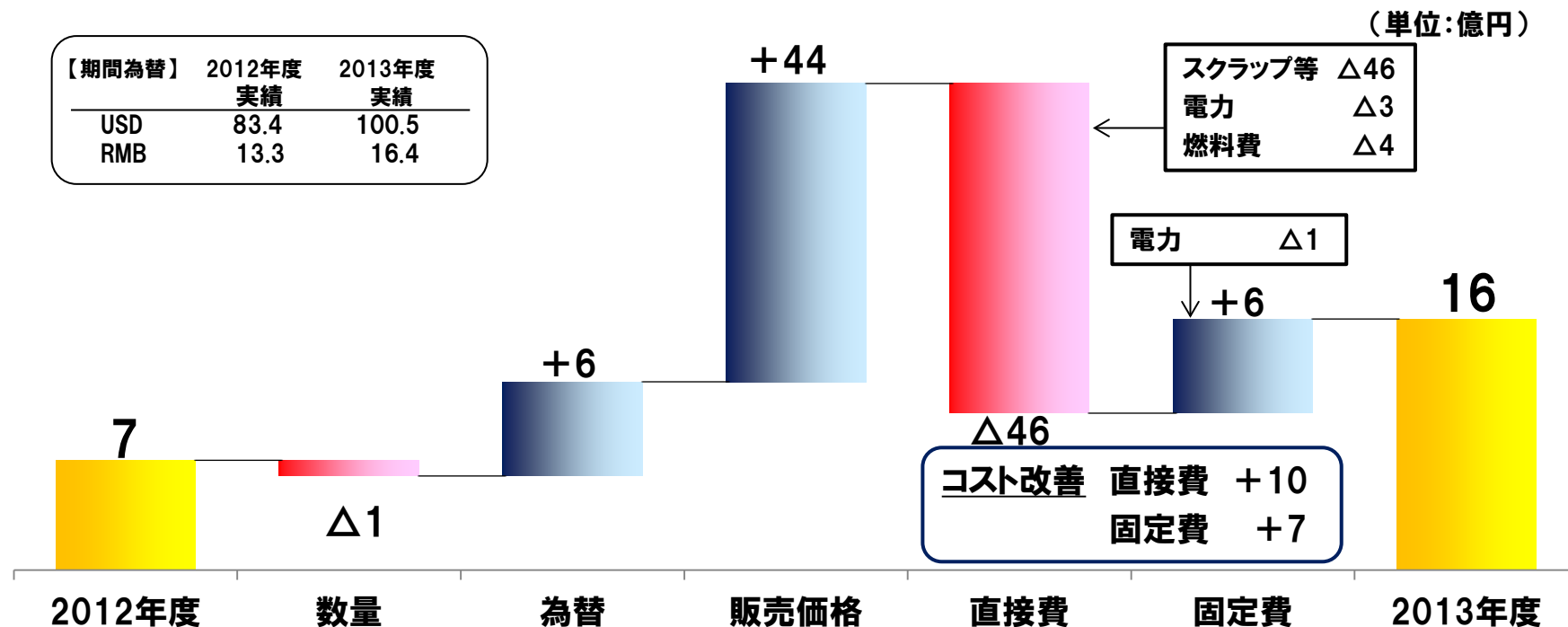
鉄鋼事業 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

鉄スクラップと電力等の価格上昇による影響があったものの、徹底的なコストの削減や適正な販売価格の形成により9億円の増益。



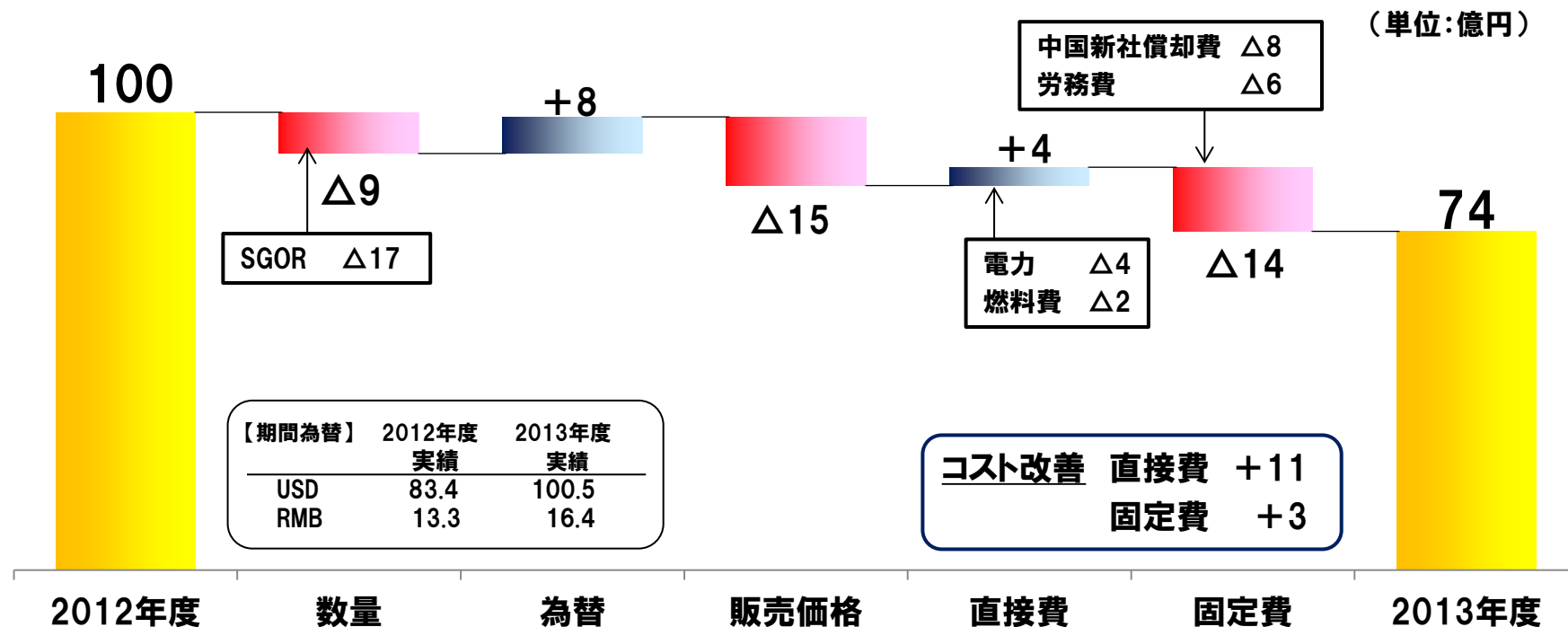
自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

SGORの販売数量激減と履板・履帯の価格競争に加え、中国新社の固定費が増加し、26億円の減益。



地域別売上高比率



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

日系自動車メーカーの販売回復と、履帯新社の本格稼働により中国が増加。

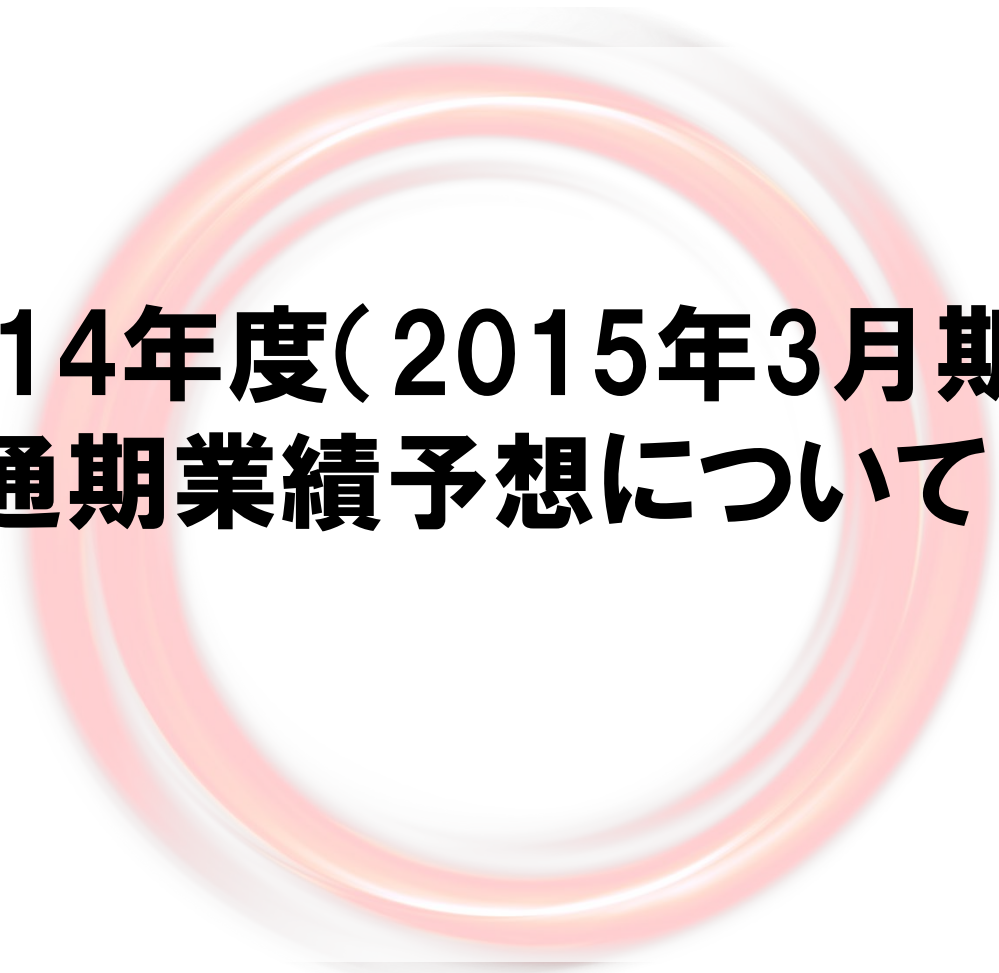
(単位:億円)

	日本	米国	中国	その他	合計
鉄 鋼 事 業	683 29.1%	10 0.4%	0 0.0%	37 1.6%	730 31.1%
自 動 車・産 業 機 械 部 品 事 業	1,000 42.6%	235 10.0%	149 6.3%	91 3.9%	1,474 62.8%
そ の 他	141 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	143 6.1%
合 計	1,824 77.7%	245 10.4%	149 6.3%	129 5.5%	2,347 100.0%

<参考>2012年度

合 計	1,754 77.3%	258 11.4%	89 3.9%	168 7.4%	2,269 100.0%
-----	----------------	--------------	------------	-------------	-----------------

上段:実績値
下段:合計売上高に
対する比率



2014年度(2015年3月期) 通期業績予想について

通期業績予想



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

売上高は前期比4.0%の増収。

営業利益は前期比24.3%の増益、営業利益率は0.4ポイント増の2.7%。

(単位:億円)

	2012年度	2013年度 (A)	2014年度予想 (B)	前期比 (B-A)
売上高	2,269	2,347	2,440	+ 93
営業利益	69.9	53.1	66.0	+ 12.9
営業利益率	3.1%	2.3%	2.7%	+ 0.4P
経常利益	62.3	44.9	57.0	+ 12.2
当期純利益	34.1	19.1	36.0	+ 16.9
配当(円)	4.0	2.0	4.0	+ 2.0

2014年度の経営環境想定

2013年度との比較

◆外部の環境

○ー×:環境・影響の評価

海外経済	ー	米国:緩やかな回復の継続が期待
	ー	中国及び東南アジア:経済の不透明感や政情不安
日本経済	○	政府の経済対策による緩やかな回復の期待
	×	消費税増税前の駆け込み需要の反動

◆当社グループに関する環境

鉄鋼事業	ー	販売:メタルスプレッドの確保が重要
	×	電力コスト:中部電力の値上げ
自動車・産業機械部品事業	×	ホイール:乗用車、トラック用が駆け込み需要の反動で微減
	ー	SGOR:鉱山向け需要の低迷。早期回復は見込めない
	×	国内建機:前年度の駆け込み需要の反動
	ー	東南アジア建機:鉱山需要の低迷や政情不安

厳しい経営環境が続く中、引き続き収益改善とコスト削減対策を推進する。海外、国内とも大規模投資の立ち上げ時期にあたり、着実に計画を進める。また、事業の点検・見直しについても実施していく。

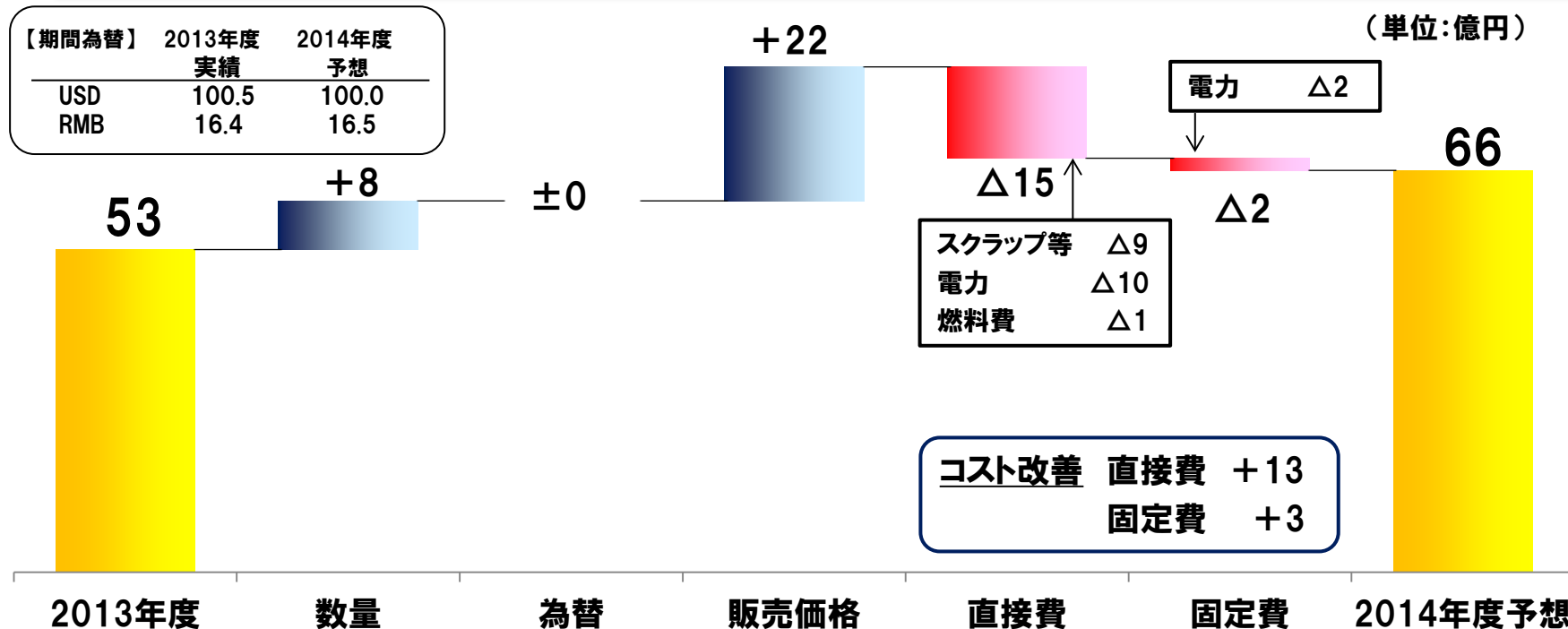
- ・トピー パリンダ インドネシア【トラック用スチールホイール】:2014年4月稼働開始
- ・トピー・エムダブリュ・メキシコ【乗用車用スチールホイール】:2015年操業開始予定
- ・豊橋製造所新製鋼工場:2015年4月操業開始予定

連結 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

鋼材の適正な販売価格の形成や中国新社の本格稼働、着実なコスト改善の継続により、13億円の増益。



セグメント別業績予想



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

鉄鋼事業は増収増益となるが、自動車・産業機械部品事業は減収減益。

(単位:億円)

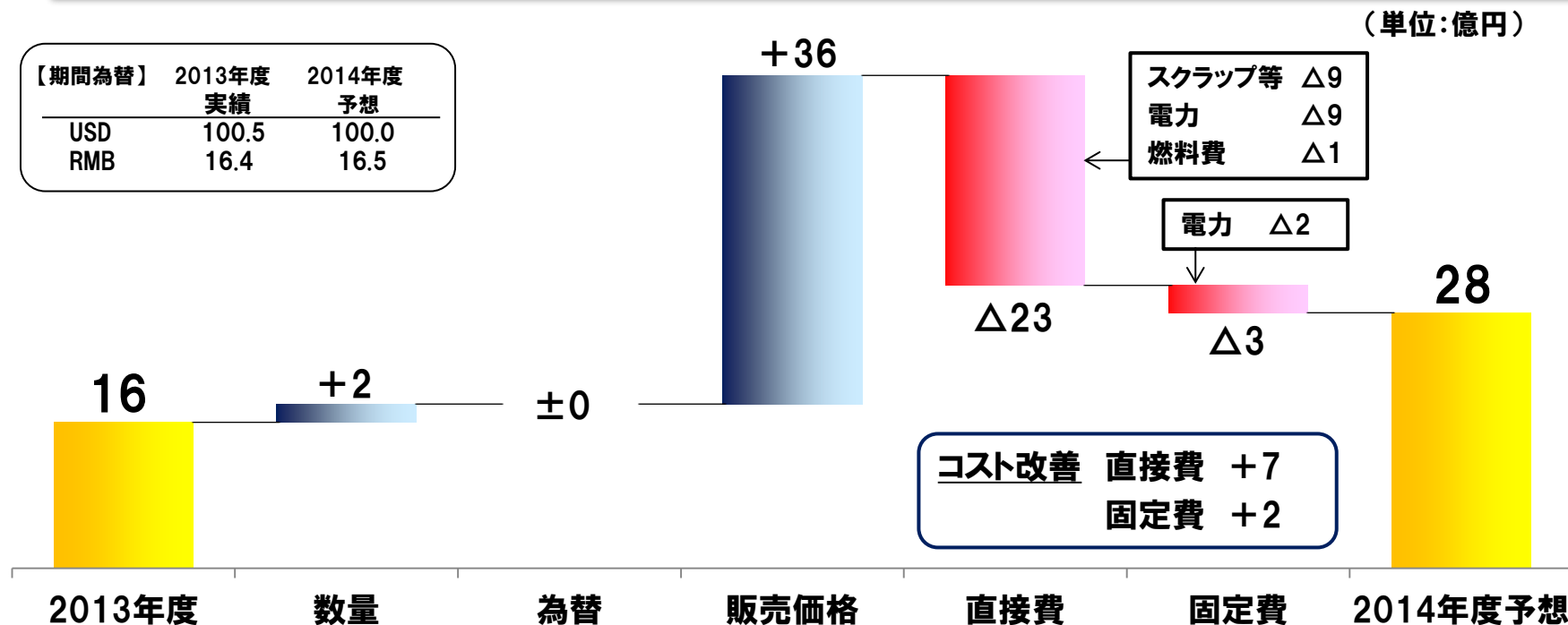
	2013年度 (A)		2014年度予想 (B)		前 期 比 (B) - (A)	
	売 上 高	営 業 利 益	売 上 高	営 業 利 益	売 上 高	営 業 利 益
鉄 鋼 事 業	730	16.3	840	28.0	+ 110	+ 11.7
自 動 車・産 業 機 械 部 品 事 業	1,474	73.6	1,450	71.0	△ 24	△ 2.6
そ の 他	143	6.3	150	6.0	+ 7	△ 0.3
消 去	—	△ 43.2	—	△ 39.0	—	+ 4.2
連 結 計	2,347	53.1	2,440	66.0	+ 93	+ 12.9

鉄鋼事業 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

電力料金の値上げがあるものの、適正な販売価格の維持とコスト改善を継続し、12億円の増益。



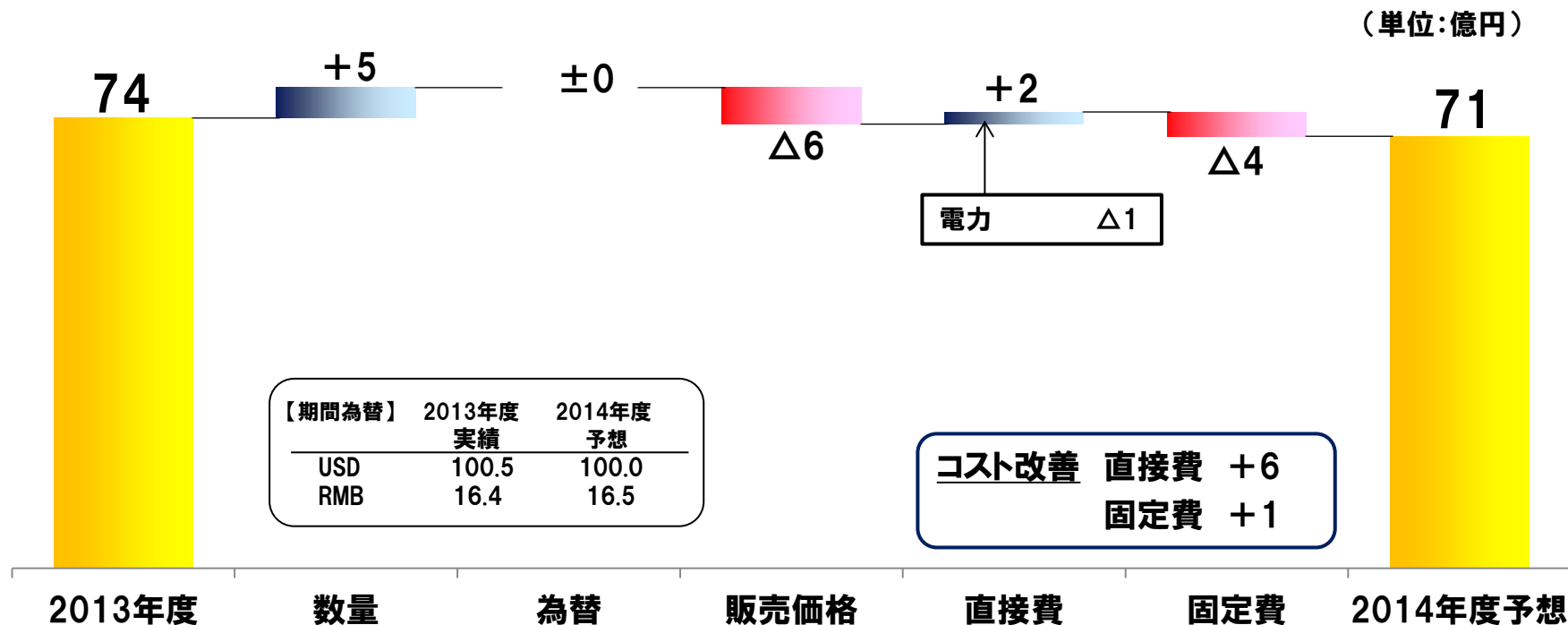
自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

コスト改善に取り組むが、建設機械用足回り部品の競争激化により、3億円の減益。



設備投資額(支払ベース)



流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

中期連結経営計画の実行により投資額が増加。主な投資内容は新製鋼工場と海外拠点関連。

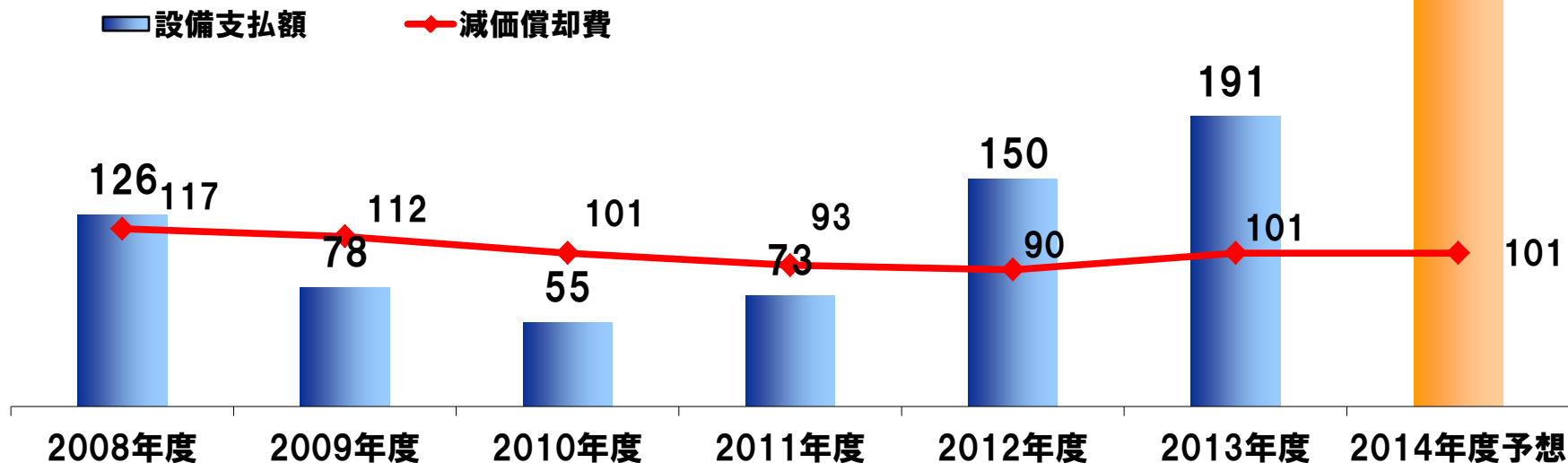
■2013年度 主な設備支払項目

豊橋製造所 新製鋼工場	65億円
トビー履帯(中国)有限公司	12億円
トビー バリダ マニファクチャリング インドネシア	38億円
トビー・MW・マニファクチャリング・メキシコ	2億円

■2014年度 主な設備支払項目

豊橋製造所 新製鋼工場	203億円
トビー・MW・マニファクチャリング・メキシコ	22億円
トビー バリダ マニファクチャリング インドネシア	20億円

(単位:億円)
307



有利子負債

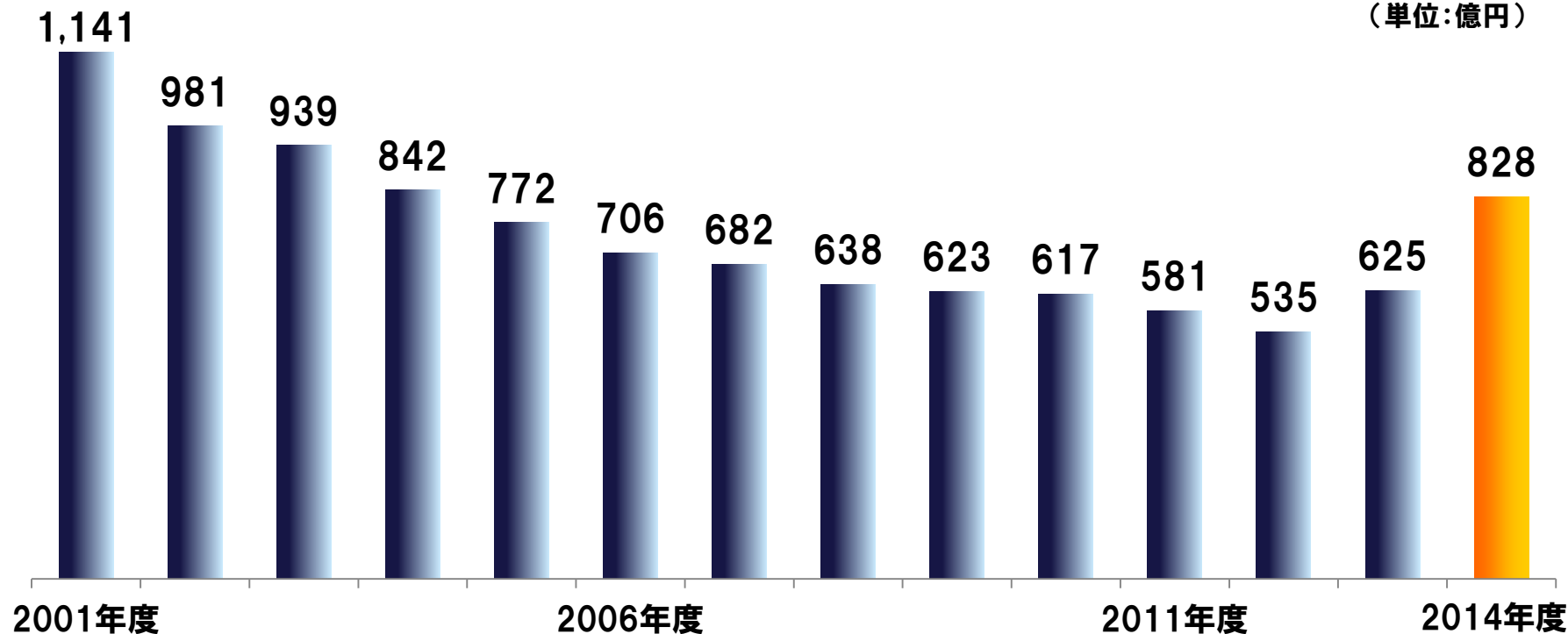


流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

2014年度は828億円(前期比+203億円)を予定

(単位:億円)



中期連結経営計画 「Growth & Change 2015」 の進捗状況について

中期連結経営計画 “Growth & Change 2015”



流れるように美しい、技術と品質。

基本方針

グローバルでの成長と高収益体質への変革

■海外事業の量的成長

成長する新興国市場への対応

グローバルレベルで勝ち抜く事業基盤の実現

■国内事業の質的成長

強靱なコスト競争力の実現

競争力の高い商品、卓越した技術を武器に

高付加価値品を拡大

海外展開を支えるマザー工場としての機能強化

数値目標

売上高営業利益率	6.4%
自己資本利益率（ROE）	9.6%
総資産利益率（ROA）	7.3%
D / E レシオ	0.66

計数計画

売上高	2,815億円
（海外売上高比率）	25%
営業利益	180億円
当期利益	100億円

重点テーマ

海外事業の拡充（量的成長）

1. グローバルシェアの維持・拡大
2. グローバル供給体制の強化

国内事業基盤の強化（質的変革）

1. 製鋼設備の新鋭化による製造コストの抜本的改善
2. 生産性向上「つくりの変革」・原価低減活動の深化
3. 戦略・高付加価値製品の開発と拡販

経営の高度化

1. 業務プロセスの改革
2. グローバルでのグループ経営の高度化
3. グローバルで戦える技術力の強化
4. リスクマネジメントシステムの深化

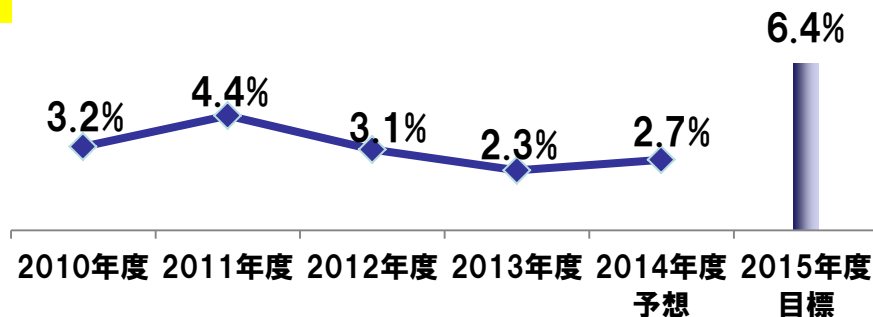
数値目標推移



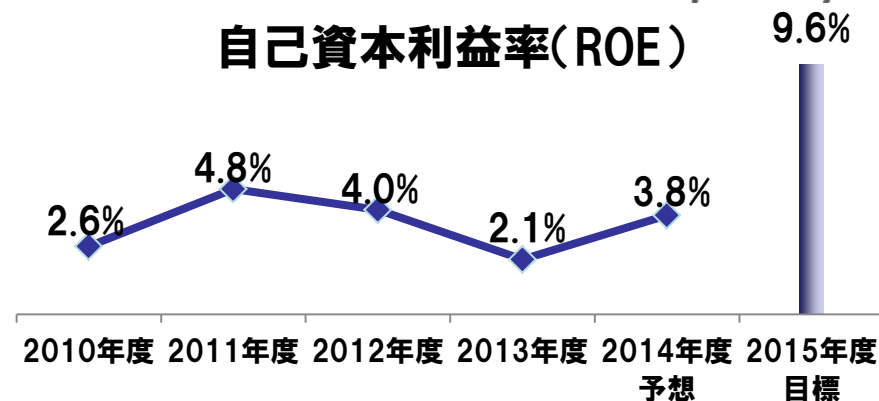
流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

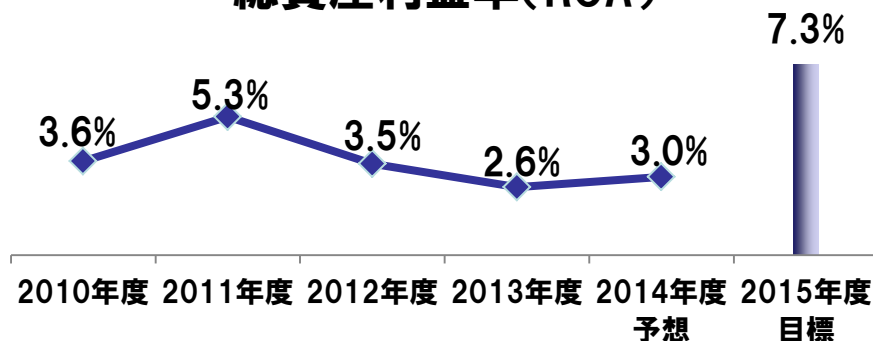
売上高営業利益率



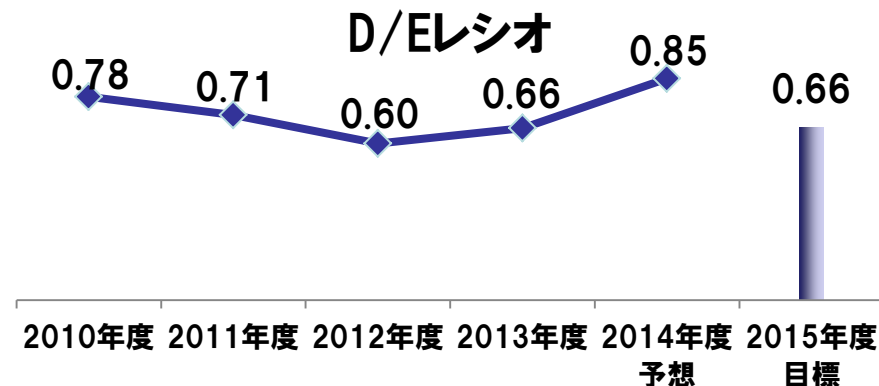
自己資本利益率(ROE)



総資産利益率(ROA)



D/Eレシオ





本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。